

社団法人 未踏科学技術協会
平成18年度 事業報告書

この報告書は、平成18年度の当協会の活動を役員の変動を含めてまとめたものです。

A. 庶務事項

1. 理事会4回、総会2回を開催いたしました。
2. 平成18年度における理事等の変動は次のとおりでした。
 - ・理事、監事の改選（任期 平成18年4月1日～平成20年3月31日）がありました。
 - ・理事 相澤益男 氏 平成18年12月31日付けで退任
3. 評議員会を1回開催致しました。
4. 平成18年度における会員の 변동状況は、[別表2]のとおりでした。

B. 事業活動

1. 講演会の開催、研究会、委員会等の運営および各種調査・普及活動

- (1) 科学技術情報シンポジウム「科学技術情報の発信と活用のイノベーション」を開催しました。
- (2) MOT、先端メカトロニクス、バイオフィロンティア、安全・安心、バイオマス、材料イノベーション、材料ビジネス戦略、資源・エネルギーを題材に特別講演会（14回）を開催致しました。MOT、知財、化学物質については連続セミナーを実施致しました。
- (3) 磁性材料研究会21関連では、「希土類磁石をめぐる期待と杞憂」をテーマに研究会を開催致しました。
- (4) 第5回ナノサイエンス・サマー道場「量子オプティクスの基礎と応用」を開催致しました。
- (5) 「生命をはかる」研究会が18年度末を以って第I期活動を終了し、第II期に移行するため、5年間の活動を評価する委員会を開催致しました。

2. 外部からの受託・請負事業

- (1) 国からの受託事業の実施
内閣府および経済産業省から環境教育に関する次の事業を受託し、完了致しました。
[内閣府] 平成18年度先駆的省資源・省エネルギー実践活動等推進事業
「高校生活において生徒自ら創意工夫するCO₂排出削減促進事業」（19.3.20完了）
[経済産業省] 平成18年度エネルギー使用合理化環境経営人材育成委託費
「消費行動における意識向上のための環境教育に関する調査事業」（19.3.9完了）
- (2) 公的機関からの受託事業の実施
物質・材料研究機構、新エネルギー・産業技術総合開発機構から調査研究それぞれ1件を受託し、それを実施、完了致しました。（調査題目等は[別表1]に記載。）
- (3) 公的機関からの請負事業の実施
物質・材料研究機構、産業技術総合研究所、国立環境研究所、科学技術振興機構から調査研究、会議運営、データ整備等14件の事業を請け負い、完了いたしました。
 - ・物質・材料研究機構 4件
 - ・産業技術総合研究所 2件

- ・国立環境研究所 1件
 - ・科学技術振興機構 7件 (調査題目等は[別表1]に記載。)
- (4) その他民間からの受託及び請負事業の実施
- ・放電加工技能検定実施に協力いたしました。
実技試験に関し、試験の実施への協力および検定用表面あらさ比較標準片作成。
検定用試験問題作成のための技能検定委員派遣(中央職業能力開発協会)。
 - ・新材料、新技術、環境問題に関係する調査研究の実施、国際会議の開催、および学会などの運営に事務局として協力いたしました。
調査研究項目、会議は[別表1]に記載。

3. 特定研究会の運営

各研究会では次のような事業及び会議を開催いたしました。活動の詳細は[別表1]に記載。

- (1) 超伝導科学技術研究会
シンポジウム(1回)、ワークショップ(3回)、運営のための幹事会等の各種委員会を開催し、会員むけの会報(4回)を発行致しました。
超伝導材料研究においてインパクトを与えた人を対象に超伝導科学技術賞の授与式を行いました。
- (2) バイオ・ナノテクフォーラム
シンポジウム(1回)を開催し、若手研究者を対象に優秀論文発表に対して高木賞を授与致しました。
先端課題メンタリング(3講座)、技術見学会(2回)を開催しました。
また、運営のための幹事会等の各種委員会を開催しました。
- (3) エコマテリアル・フォーラム
フォーラム運営のための総会(1回)、企画審議会(2回)、幹事会(4回)等の各種委員会を開催致しました。
ワーキンググループ等の活動としてシンポジウム(2回)、ワークショップ(2回)、またサステイナブル懇話会、第7回エコバランス国際会議を開催いたしました。
その他、データベース Eco-M.C.P.Sを整備、公開しました。
- (4) ナノ粒子研究会
講演会(4回)・見学会(1回)の開催、ニュースの発行(4回)、運営のための幹事会等の各種委員会を開催致しました。
合成、健康・環境影響評価の2つの分科会を定期的に開催しました。
- (5) 「生命をはかる」研究会
2回の公開(うち1回は5周年記念事業として)を含む4回の研究会と、その企画運営のための幹事会を開催しました。
2006分析展において研究会活動を紹介致しました。
年度末で第I期活動を終了し、第II期研究会へ移行するため臨時幹事会を開催し、第II期の事業について検討いたしました。

4. 出版・広報事業

- (1) 広報活動の一環として、月刊会報「未踏科学技術」を継続発行しました。
- (2) その他、平成18年度に完了した調査研究の成果報告書および平成18年度中に開催した会議の講演録や資料等を多数発行、また発行に協力いたしました。
以上の刊行物の詳細は[別表1]に記載。
- (3) 協会の活動や、主催する行事、事業の広報のためにホームページを作成、更新作業を行いました。